



対がん協会報

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13F
☎(03) 5218-4771 <http://www.jcancer.jp/>

第650号

2017年(平成29年)
6月1日(毎月1日発行)

主な内容

- 2、3面 第5回がん征圧ポスターデザインコンテスト
4、5面 シリーズがんと就労② 近藤明美氏
7面 タバコフリーサミット2017・東京

がん患者を孤立させないために **がんサバイバー・クラブ発足**

6月1日にウェブサイトを開始

日本対がん協会の新事業、がんサバイバー・クラブが6月1日に発足した。垣添忠生会長の提唱のもと、「がん患者を孤立させない」を合言葉に、家族や友人が寄り添い、仲間同士が支え合えるよう支援していく。

クラブはウェブサイトでの情報発信と、さまざまなイベントや相談事業などの2本柱

で、まずはウェブサイトの開設と、就労相談などからスタートし、今後患者同士のふれあいや支え合いを支援する活動やイベントを充実させていく。

開設当日の6月1日付朝日新聞朝刊「私の視点」で、垣添会長ががんサバイバー・クラブの趣旨と事業内容を発表した。ネットに玉石混交の情報があふれる中、がん患者は正しい情報を切望していることや、闘病の体験談を知りたい、話したいと思い、患者同士のつながりを求めていることなどを説明。



運営メンバーがそろって 右端が横山マネージャー



<http://www.gsclub.jp>

がんになっても働き続けられるような支援が大切と強調した(4、5面に関連記事)。一度でもがんを経験した人のことを「がんサバイバー」と呼び、それらの人たちに向けて、最も信頼のおける正しい情報を提供する場を作りたいと開設の趣旨を記した。

ウェブサイトは国立がん研究センターや静岡がんセンター、米国MDアン

ダーソンがんセンター監修のウェブサイト「チームオンコロジー.COM」などのがん対策関連機関や団体のほか、朝日新聞を始めとするメディアの協力や情報提供を得ているのが特徴だ。

具体的な内容は①がん関連注目ニュース、②がん診療連携拠点病院一覧など医療機関情報、③がんの相談窓口紹

介、がんのQ&A、社会保険労務士による就労相談、④がん予防やがん検診についての情報に加え、垣添会長とがんサバイバーや識者との対談などを順次掲載していく。

がんサバイバー・クラブのウェブサイトは誰でも閲覧可能だが、運営を支援してくれる各種寄付会員やメルマガ会員を広く募集している。

応援よろしくお祈いします

がんサバイバー・クラブのミッションは「患者を孤立させない」こと。そのために何ができるのか、サバイバーを中心にした立ち上げメンバーたちは連日議論を重ね、がん患者の「治りたい」「普通の生活がしたい」「支えたい」という想いに寄り添う場所を作ろうという結論にたどり着きました。産声を上げたばかりの活動ですが、信頼できる情報を発信するだけでなく、皆が繋がることのできる場所を目指していきます。

日本対がん協会 がんサバイバー・クラブ運営委員会マネージャー 横山 光恒

がん相談ホットライン 祝日を除く毎日
03-3562-7830

日本対がん協会は、がんに関する不安、日々の生活での悩みなどの相談(無料、電話代は別)に、看護師や社会福祉士が電話で応じる「がん相談ホットライン」(☎03-3562-7830)を開設しています。祝日を除いて毎日午前10時から午後6時まで受け付けています。相談時間は1人20分まで。予約は不要です。

医師による面接・電話相談(要予約)
予約専用 03-3562-8015

日本対がん協会は、専門医による面接相談および電話相談(ともに無料)を受け付けています。いずれも予約制で、予約・問い合わせは月曜から金曜の午前10時から午後5時までに☎03-3562-8015へ。相談の時間は電話が1人20分、面接は1人30分(診療ではありません)。詳しくはホームページ(<http://www.jcancer.jp/>)をご覧ください。

第5回がん征圧ポスターデザインコンテスト 受賞者決定

勝森彩香さん(沖縄県立芸術大学)が最優秀賞

学生を対象に公募した「第5回がん征圧ポスターデザインコンテスト」の入賞作品が決定した。このコンテストは、若い世代にがんについて知ってもらい、新鮮な発想とデザインでがん検診の受診を呼びかけてもらうことを目的に日本対がん協会が主催している。

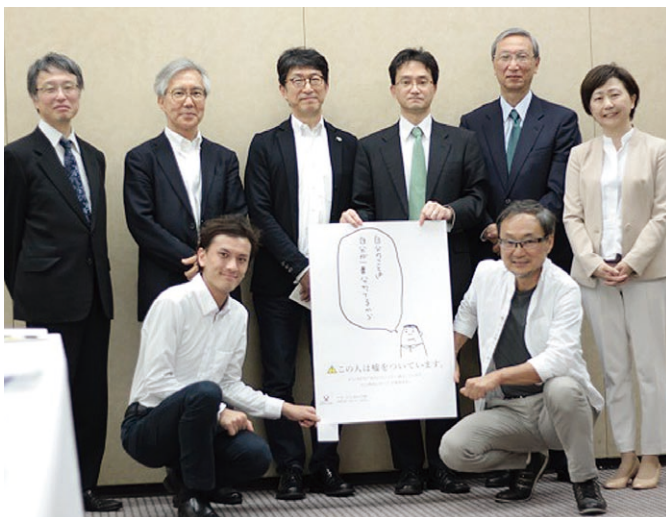
最優秀賞に選ばれたのは勝森彩香さん(沖縄県立芸術大学2年)の作品「この人は嘘をついています」。余白を効果的に使い、あたたかみのある男性のイラストと手書き文字が印象的で、注意喚起を促す標識のようなマークやドキッとするようなコピーとの対比が、見る人の目を引くデザインだ。

勝森さんの作品はポスター化し、9月のがん征圧月間に合わせて全国の自治体、保健所、病院などで掲示される。

優秀賞は赤嶺嘉朗太さん(那覇情報システム専門学校2年)、大賀愛子さん(金沢美術工芸大学2年)、岡庭秀晃さん(長岡造形大学2年)の作品に決定した。

審査会は4月19日に東京・千代田区の有楽町朝日スクエアで行われた。審査員は、大谷剛志(厚生労働省健康局がん・疾病対策課課長補佐)、岸田徹(NPO法人がんノート代表理事)、中川恵一(東京大学医学部附属病院放射線科准教授/放射線治療部門長)、廣村正彰(グラフィックデザイナー)、本田亮(クリエイティブディレクター)、秋山耿太郎(日本対がん協会理事長)、本橋美枝(日本対がん協会広報グループマネージャー)の7人。

審査後の講評では「優秀賞・最優秀賞の作品はどれも、がん検診について自分なりによく考えられていて、難しいテーマにもかかわらず、生活感やユーモア、リアリティがある作品が多かった」、「バラエティに富んだ作品が多くなってきて、審査が楽しかった」などの意見や感想が出された。また、今年はレベルの高い作品が数多く集まったため、審査員で話し合った結果、最終選考に残った作品を「入選」として12点を発表することに決定した。



審査員一同で最優秀賞作品を囲む

最優秀賞

勝森 彩香(かつもり あやか)さん
沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 2年



「この人は嘘をついています。」

【作品説明】

がんは自分が気付かないうちに進行している。これを伝えるために、がん検診にいかないガンコな人が言いそうなセリフを考えました。

イラストとセリフのラフなタッチと注意書きの緊張感で、2つのギャップを持たせて、見ている人に興味を持ってもらおうと思い、デザインしました。

【審査員：本多亮先生の講評】

がん検診に行かない人の気持ちを肩から力を抜いて表現し、キャッチで「嘘」という強い言葉を使って真っ向否定する構成が見事。がん検診を推奨する専門家も思わず納得した作品。きわめてシンプルな作りだが、イラストの味わい、アイコンの使い方など、デザインの基礎力があるのに取ってそぎ落としている作品だと感じた。

※学年は2017年3月の応募時

優 秀 賞

赤嶺 嘉朗太(あかみね よしろうた)さん
那覇情報システム専門学校 2年



「ステージ」

【作品説明】

がん検診を行うことで、避けられるかもしれない人生の「ステージ」があるのを周知することが目的です。

【本田亮先生の講評】

極めて完成度の高い作品だと思った。がんの「ステージ」と、歌の世界の「ステージ」という言葉を重ねて、患者にスポットライトを当てているビジュアルに大人のユーモアを感じた。大胆にブルーで統一したデザインもなかなかインパクトがある。最後まで最優秀賞を争ったが、わずかな票数の差は、人間の温もりの差にあったように思う。



1点1点真剣に見る本田先生(右)

大賀 愛子(おおが あいこ)さん
金沢美術工芸大学 美術学部 2年



「検診 行く行く詐欺」

【作品説明】

ついつい後回しにしてしまいがちながん検診。がん検診の優先順位度が低いいため、誰かに検診に行くように促されても「うんうん、行くよ〜」と返事をするだけで受け流してしまいがちだと思います。そんな人たちに注意喚起をするとともに、がん検診を多くの人に受けてもらえるようなポスターを目指して制作しました。

【本田亮先生の講評】

審査員からも「こういう会話、よくあるよね」と多くの共感があった。「行く行く詐欺」という言葉も軽妙でユーモアがある。日常会話の中でがん検診を捉えた目の付け所も良い。親しみやすくわかりやすいビジュアルを採用している分、デザイン的にシャープに引き締める部分があっても良かったのではないかと思います。

岡庭 秀晃(おかにわ ひであき)さん
長岡造形大学 造形学部 2年



「癌はスマホじゃ分からない」

【作品説明】

現在の人たちは分からないことがあるとなんでもスマートフォンで調べようとします。しかし、癌はスマホで調べることはできません。普段便利だと思って使っているスマホもできないことはある、ということに気がついてもらい、がん検診に行ってもらえるのではないかと思います。思い制作しました。

【本田亮先生の講評】

多くの応募作品の中でただ一つのユニークな発想だった。現代社会の中で万能だと思われるスマホ検索をチクリと批判しつつ、実際に行動に移すことの大切さをアピールした視点は面白い。黒をベースにしたデザインもがんを発想させ、シンプルで力強い。受けコピー(「そうだ、がん検診に行こう」)がパロディではなく、自分の表現になるともっと良くなったと思う。

<入選>

町田 幸乃	(桐生大学短期大学部)	「早期発見」
吉村 淳	(愛知県立芸術大学)	「ご自慢の健康なカラダ」
嘉味田 隼一	(沖縄県立芸術大学)	「のんびり長生きしたいから」
榎山 大樹/内木 崇博	(広告デザイン専門学校)	「大人のためのがん検診講座」
中村 友香	(日本大学 芸術学部)	「早期発見、ありがとう」
大和田 なるみ	(日本大学 芸術学部)	「悪性新生物」
大和田 なるみ	(日本大学 芸術学部)	「知ること」
櫻井 麻美	(静岡産業技術専門学校)	「愛しているからこそ言うべき言葉」
小山田 乃英	(日本大学 芸術学部)	「がんナメとったら痛い目みるで」
坂倉 ひかる	(日本大学 芸術学部)	「完成するまえに…」
横田 かおり	(京都女子高等学校)	「見えるところ、だけじゃない」
大賀 愛子	(金沢美術工芸大学)	「本当に健康？」

※敬称略、順不同

シリーズがんと就労②

特定社会保険労務士 近藤 明美

制度・運用・配慮 がんと仕事の両立のためどれも大切

がんになっても働きたい人、働かなくてはならない人にとって、頼りになる存在の一つが社会保険労務士だ。がん診療連携拠点病院での就労相談など、がん患者の就労支援活動に長く携わり、自身もがん経験者である特定社会保険労務士の近藤明美氏に、相談業務を通してみたがん患者の就労の現状と社会保険労務士にできることをお聞きした。

退職に影響大きい心理的要因

——がんと診断されて仕事を辞めてしまうのは何故でしょうか

退職の要因には大きく分けて、①身体的要因、②心理的要因、③職場環境・働き方の問題の3つがあります。私の実感としては特に②の心理的要因は大きいと感じます。心理的要因には「職場への迷惑」と「価値観の変化」があります。価値観の変化というのは人生の中で仕事の優先順位が下がるとか、今は治療に専念しようとかいう考え方の変化のことですが、気になるのは「職場に迷惑をかけたくない」、「かけるくらいなら辞めてしまおう」という意識の強さです。もちろん、一時的には職場に何らかの負担はかけることになるでしょう。でも長いスパンで考えればお互いさまなのに、迷惑をかけると思い込んでしまうのです。

——なぜそのように思い込んでしまうのでしょうか

職場の雰囲気や、以前にがんにかかった人が職場にいた時の経験など色々あると思います。私が関わった事例では、「今まで完璧に仕事をこなしてきたのに、今更弱いところは見せられない」と思っていた男性もいました。男性には自己開示の苦手な方が多いですね。そういう場合は辞める以外にも選択肢があることを示します。例えば会社の使える制度を調べるとか、管理職なら有給休暇もたまっているでしょうからそれを利用するとか、具体的な選

択肢を示して視野を広げてもらうようにします。

社会は少しずつ変化

——企業側の本音がわかりません

私たちが就労支援活動を始めた2009年ごろは、がんと伝えたら「辞めてくれ」と言われることも確かにありました。でも、社会は少しずつ変化しています。労働人口の減少もあり、私の顧問先の中小企業でも人手不足を実感している企業が多いです。それに、長年貢献してくれた社員を一時的にパフォーマンスが落ちたからと言って「はい、さよなら」というのは良くないと考えている経営者も本当に多いです。今はネットで悪い評判がすぐ広まりますし、人を大事にしない企業は今後生き残っていけないと思います。

——どんな人からの相談が多いですか

私の場合は患者本人や家族から相談を受けますが、シングルマザーの方も多いです。男女とも自分が一家の大黒柱という方の相談がほとんどです。ですから仕事を続けることが前提で、どうしたらスムーズに、良い形で継続できるかを一緒に考えます。

個別の状況を整理し手助け

——相談は具体的にどんな風に進めるのですか

まず相談者の状況を聞き、何が相談の核(主訴)かを確認し、最初に解決すべきことを整理します。そのために使える制度の確認や、本人がどんな着地点を目指しているかの意志確認、今までの職場での雇用形態や立場、仕事内容や身体的精神的にどんな負担があるか、職場の人間関係などをお聞きします。どうしようかと着地点を迷っている人も、迷う理由が必ずあります。例えば長時間労働の職場で、「こんな働き方をして再発したらどうしよう」と不安に思っているなどです。



近藤明美氏

また、がんになった時点で置かれている状況は一人ひとり違います。例えば「ちょうど転職したいと思っていた」「ちょうどやりたかったプロジェクトに入ったばかり」「一家の大黒柱かどうか」などさまざまです。退職を決心している人には、辞めるタイミングや有利な条件をアドバイスしますし、辞めると迷っている人には、退職と継続の両方のメリット、デメリットを説明します。私たちの考える方に誘導するのではなく、あくまで主導権は相談者ですが、これもケースバイケースで背中を押してもらいたい人もいますので難しいです。社労士は相談者に代わって手続きをすることが可能ですが、自ら動くことが病気をきっかけに自信を無くしてしまった相談者の力を取り戻すプロセスになると思います。

職場との正確な情報共有大事

——相談者自身に望むことは

会社は本人がどうしたいのかを知りたいがっています。続けたいのか辞めたいのか、続けるとして、どのくらいの治療期間でいつ頃復職できるのか、通院の間隔や副作用はどんな状況かなど、お互いの情報共有が重要です。診療計画と簡単に言っても術後の経過によって計画が変わる場合もあります。その場合も会社と密に連絡を取りあっている人の方が、復職がうまく行く傾向があります。組織と言ってもしよ

んは人間同士、治療しながらで本当に大変だとは思いますが、やはりきちんと話さないとうまく伝わらなくてお互い困りますよね。もちろん転職したいと思っていた場合など、職場に信頼できる人がいない場合もあります。そんな場合でも一旦は復職して一定期間働いた方が、転職する際も得策だとアドバイスします。

——上手な配慮の引き出し方とは

会社に病気のことを伝えるのは、自分が病氣なんだと知ってもらうのが目的ではなく、それによってどんな影響が出るか、どんな配慮が必要かを伝えることが目的なのです。病気については話しづらさもあると思いますが、普段仕事で困っていることを上司に相談するのと同じようにわかりやすく話すのが良いのではないのでしょうか。「医師からは1か月間時短にしたらどうかと言われていて、私自身もその方が復職しやすいと思っていますがどうか」のように、客観的なデータと本人の意向をそろえて普通に話した方がスムーズに伝わりやすいと思います。そのために医師や社労士も力になります。伝え方は本人のキャラクターにもよりますが、やはり「こうしてもらえたら、こうできるのですが——」という感じで、前向きな相談の方が会社側も受け入れやすいと思います。

——大企業と中小企業では違いもあります

一般的には大企業や公務員の方が制度は整っています。でもケースバイケースですが、中小企業のほうが制度はなくても柔軟に対応してもらえる場合も多い。大企業の担当者は逆に個別の配慮というのは公平性に欠けるから制度を作らないといけないと言います。中小企業の方が意外に現場レベルの配慮でうまく行く場合も多いです。制度、運用、配慮の3つがうまく回ってこそ、その職場はうまく機能するのではないのでしょうか。以前相談に見えた方が職場復帰した後で「職場に恩返しをしたい」と話すのも聞きました。そういう人に出会えると私自身も励まされます。(聞き手 日本対がん協会 本橋美枝)

近藤明美(こんどうあけみ)

2008年近藤社会保険労務士事務所開業。2009年からがん患者の就労支援活動を開始する。埼玉県立がんセンターなど4カ所の医療機関のほか、6月からは日本対がん協会でも就労についての電話相談を月2回行う。

<がんと就労 電話相談>

毎月2回、相談時間は1人40分 相談料は無料 予約受付電話03-3562-8009で月曜から金曜の10:00~17:00受付。相談月の前月1日より、先着順。6月は8日(10:00~12:10)と20日(14:00~16:10)に実施。

使える制度の例

①職場の制度

休暇制度	勤務制度
・時間単位・半日単位の年次有給休暇	・在宅勤務制度(テレワーク)
・私傷病求職制度	・短時間勤務制度
・治療休暇・傷病休暇	・時差出勤制度
・失効年次有給休暇の積立制度	・フレックスタイム制度
	・試し出勤制度・復職支援プログラム

②お金に関する制度

状況	制度の種類
負担を軽減	・高額療養費制度・限度額適用認定証(健康保険)
	・高額医療費貸付制度(健康保険)
	・公費負担医療制度(市役所)
	・医療費控除(確定申告)
	・国民年金保険料免除・納付猶予制度(市役所)
	・国民健康保険料の減額・免除制度(市役所)
収入を補償	・障害者手帳(市役所)
	・傷病者手当金(健康保険)
	・障害年金(年金事務所)
	・失業給付(雇用保険・ハローワーク)

参考サイト「がん制度ドッグ」

質問に答えることで使える可能性のある制度が表示される

<http://www.ganseido.com/about/>

The screenshot shows the homepage of the 'Gan Seido Dog' website. At the top, there are navigation links: 'TOPに戻る', '制度一覧', and '紹介・活用事例'. Below these are social media icons for Twitter and Facebook. The main heading reads '患者・家族、医療従事者が無料で使える がん制度ドッグ®'. Below this is a search prompt: 'がんの「お金」に関する制度をまとめて検索!' followed by a sub-heading: 'がんと診断された方のための公的・民間医療保険制度検索ウェブサービスです。'. A text box contains: '現在の病状・体調・ご希望に合わせた制度を探すことができます。' and 'ひとりでも多くの患者さんの経済的な問題の解消につながりますように。'. At the bottom, there is a disclaimer: '「がん制度ドッグの利便提供、ならびに研究活動に関するお約束」に同意の上、「検索する」ボタンを押してください。' and a large yellow button with the text '検索する'.

がん患者・家族の希望となるために

RFLJ『プロジェクト未来』研究助成 公募開始

公益財団法人日本対がん協会は6月5日付で、日本国内のがん研究を助成する、リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成の公募を開始した(協力:日本癌学会、一般社団法人日本癌治療学会、公益社団法人日本臨床腫瘍学会)。

この助成制度は同協会と全国のRFLJ実行委員会が主催する、がん患者・家族の方々を支援する活動「リレー・フォー・ライフ」を通じて寄せられた寄付金を基に設けられ、今年度で6回目となる。将来の画期的ながん治療や、患者のQOL改善に役立つような基礎研究・臨床研究、患者・家族のケアに関する研究に対して、一件当たり最大300万円を助成する。

2016年度は過去最多の125件の応募があり、分野Ⅰから11件、分野Ⅱか

ら9件、合計20件の研究を採択した。2017年度もがん患者や家族など支援者の夢の実現につながるような研究を

広く公募する。詳しくはリレー・フォー・ライフのホームページ内の「プロジェクト未来」のページをご確認ください。

対象: [分野Ⅰ]…基礎研究・臨床研究(がんの発症メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発に関わる基礎・臨床研究、臨床試験、疫学研究等)

[分野Ⅱ]…がんの支持療法、社会面に関する研究(患者・サバイバー・家族の支援、就労、治療後遺症、リハビリ、口腔ケア、がん相談に関する研究等)

助成金: 1件300万円を限度とする(総額1750万円以内)。研究が複数年にわたる場合は、年度ごとに申請(最長3年)。

応募方法: リレー・フォー・ライフホームページ内の「プロジェクト未来」のページ(<http://relayforlife.jp/donate/project1>)からダウンロードした研究助成金申請書に必要事項を明記の上、必要な資料を添えて郵送またはE-mailで応募する。

募集期間: 2017年6月5日(月)～7月20日(木)17:00(必着)

問い合わせ: 日本対がん協会RFLJ「プロジェクト未来」研究助成係
E-mail: rfl@jccancer.jp

埼玉西武ライオンズ LIONS HAPPY MOTHER'S DAYを開催

日本対がん協会と埼玉県支部がブースを出展



お揃いのTシャツを着たスタッフたち

ゴールデンウィーク最終日となる5月7日に、埼玉西武ライオンズと東北楽天ゴールデンイーグルスの試合に合わせ、埼玉西武ライオンズは「LIONS HAPPY MOTHER'S DAY」を開催した。この日埼玉・所沢市のメットライフドームでは、1日限定の特別企画や、さまざまな特設ブースが出展し、日本対がん協会も同球団の取り組みに協力して、球場ドーム前広場で啓発活動を行った。

今年は昨年に引き続き、埼玉県支部(埼玉県健康づくり事業団)とともに啓発ブースを出展し、来場した女性約35人に検診車で無料の乳がん検診を

プレゼントした。朝10時の受付開始時間の前から希望者が来場し、あっという間に定員に達するほどの人気だった。会場で乳がん検診を実施するのは昨年に引き続き2回目。受診希望者からは「普段なにかと忙しくてなかなか検診には行けない。受けたかった日に無料で受けられるのはありがたい」「無料で乳がん検診を受けられると聞いて、来場した」などと喜ぶ声が聞かれた。

対がん協会ブースでは、女性の健康に関するクイズや、お母さんへの感謝のメッセージカードとともにがん検診無料クーポン券をプレゼントする企画を行った。メッセージカード作成コーナーでは子供たちを中心に、シールやカラフルなペンを使って思い思いにお母さんへの感謝の気持ちを込めたカードを作った。女性の健康クイズには約400人が参加し、クイズの正解数に応じてくじをひき、グッズをプレゼント

するコーナーには長蛇の列ができた。啓発ブースを毎年訪れるリピーターも増えており、乳がんなど女性特有のがんに対する関心がますます高まっている様子が伝わった。

イベント当日に監督・コーチ・選手が実際に着用した「LIONS HAPPY MOTHER'S DAY」ロゴ入りオリジナルキャップや、試合で使用した限定ピンク色の塁ベース、ネクストバッタースサークルマットなどが後日チャリティオークションに出品され、盛況のうちに終了した。このオークションの収益金は、一部諸経費を除き、日本対がん協会に寄付される。



ブース前には行列が ©SEIBU Lions

タバコフリーサミット2017・東京開催

タバコのない社会目指して全国から関係者が集結、 小池百合子東京都知事も決意表明

世界禁煙デーを目前に控えた5月27日に、東京・千代田区の東京都医師会館で「タバコフリーサミット2017・東京」が開催された(パート1主催:厚生労働省、東京都医師会、日本対がん協会、パート2主催:東京都医師会、共催:日本対がん協会など)。



報道陣もつめかけ満員となった会場

大会長を尾崎治夫東京都医師会会長、実行委員長を望月友美子日本対がん協会参事が務めた。午前と午後の2部構成に分け、シンポジウム「タバコフリーオリンピックを目指して。」や、「みんなでタバコフリー社会へ。」と銘打ったさまざまなプレゼンテーション、WHOからのメッセージなど盛りだくさんな内容だった。禁煙推進に功労のあった個人・団体を顕彰する「平山雄博士の業績を記念するタバコフリー

日本賞」、「繁田正子氏の理念を記念するタバコフリー社会デザイン賞」の授賞式も行われた。

「タバコフリー日本賞」の受賞者は、昨年受動喫煙による肺がんのリスク評価を「ほぼ確実」から「確実」に上げる研究結果を発表して話題を呼んだ、国立がん研究センターの片野田耕太がん統計・統合解析研究部部長で、垣添忠生日本対がん協会会長から表彰状が授与された。

タバコ対策に関しては、2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向けて、今までになく日本の禁煙環境を整備する機運が盛り上がっている。現在、厚生労働省が提示した健康増進法改正案(受動喫煙防止法案)の内容を巡って、国会を始め各所で激しい攻防

が繰り広げられている。当日は渦中の厚生労働省健康局健康課の正林督章課長が基調講演を行ったほか、主だった医療関連団体や研究者、全国の禁煙団体の代表らが一堂に会した。

ハイライトはパート2冒頭に駆け付けた小池百合子東京都知事の登場で、「受

動喫煙防止条例をつくることは公約であり必ず実現させる。オリンピック開催都市としてスピード感を持って取り組みたい」と強い決意を表明した。会場には延べ450人に上る聴衆の他、大勢の報道機関も詰めかけ、およそ7時間にわたって熱のこもった発表やディスカッションに聞き入った。



決意表明する小池知事



禁煙推進の歩みがわかるパネル展も

世界禁煙デー記念イベント 受動喫煙防止対策をテーマに講演

2017年世界禁煙デー記念イベントが5月31日、東京・文京区の日本医師会館で開かれた。日本医師会、たばこ健康問題NGO協議会などの主催で、「受動喫煙防止対策」をテーマ



応援にかけつけた「すわん君」

に、関係者

や市民ら約200人が参加した。

健康増進法改正案に盛り込む受動喫煙対策が焦点になっている中、大和浩・産業医科大学教授が「受動喫煙防止に関する新しい知見」と題して講演。屋内を全面禁煙せず、喫煙室を残すと、清掃業者が高濃度の受動喫煙を受けるデータなどを示し、「すべての人の受動喫煙の被害を解消するには、世界49カ国、米国30州で行われているような屋内全面禁煙の法律の施行が必要」と訴えた。

「屋内禁煙が世界標準」と題した記事

で日本の受動喫煙対策の遅れを示した山本太一・毎日新聞記者も講演。「現状では最もタバコに甘い国での五輪開催になってしまう」と、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、改正案で政治家が思い切って決断をすることを求めた。

さらに、健康日本21推進全国連絡協議会の下光輝一会長も日本での受動喫煙による年間の死亡者数が1万5千人と推定されていることを示し、「屋内の全面禁煙と罰則付きの受動喫煙防止法制定を要望する」と訴えた。

2015年度グループ支部 がん検診の実施状況から ◆肺がん

■ 男女合計

支部名	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検受診者数 (C)	精検の結果					精検不要の人数 (E)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)
				がん(D)	がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	その他			
北海道	98,153	1,973	1,814	84	0	1,230	500	0	96,180	0.09%	4.26%
青森	90,742	2,454	2,184	41	83	1,073	878	109	88,288	0.05%	1.67%
岩手	34,840	307	270	6	1	155	106	2	34,533	0.02%	1.95%
宮城	16,799	44	41	5	10	2	7	17	16,755	0.03%	11.36%
秋田	64,667	2,157	1,844	46	31	748	1,011	8	62,510	0.07%	2.13%
山形	87,868	3,846	3,353	53	39	1,515	1,736	0	84,022	0.06%	1.38%
福島	209,439	2,807	2,341	46	42	859	1,190	183	206,632	0.02%	1.64%
茨城	230,417	6,432	5,331	137	89	2,669	2,370	66	223,985	0.06%	2.13%
栃木	74,962	2,106	1,798	18	111	931	714	0	72,856	0.02%	0.85%
群馬	116,614	839	724	57	75	417	173	0	115,775	0.05%	6.79%
埼玉	52,001	1,144	921	29	24	468	360	40	50,857	0.06%	2.53%
千葉	271,487	4,277	2,167	80	51	1,434	602	0	267,210	0.03%	1.87%
新潟	224,293	6,976	6,434	129	300	38	2,585	3,347	217,317	0.06%	1.85%
山梨	19,464	1,148	943	7	18	576	342	0	18,316	0.04%	0.61%
長野	74,946	985	887	47	37	276	224	303	73,961	0.06%	4.77%
富山	3,319	149	114	3	4	43	14	50	3,170	0.09%	2.01%
石川	27,373	479	400	15	10	3	184	188	26,894	0.05%	3.13%
福井	56,589	2,520	1,929	43	0	1,027	859	0	54,069	0.08%	1.71%
愛知	24,428	334	271	13	4	191	60	3	24,094	0.05%	3.89%
三重	35,998	521	419	22	8	0	157	232	35,477	0.06%	4.22%
滋賀	14,055	264	242	10	17	149	66	0	13,791	0.07%	3.79%
京都	161,990	3,121	204	2	4	103	97	0	158,869	0.00%	0.06%
兵庫	227,876	2,754	1,971	68	39	1,310	504	0	225,122	0.03%	2.47%
奈良	2,578	43	33	0	2	22	7	2	2,535	0.00%	0.00%
和歌山	56,984	1,054	509	13	5	283	203	5	55,930	0.02%	1.23%
鳥取	29,296	1,195	1,027	12	42	549	424	0	28,101	0.04%	1.00%
島根	38,584	1,514	1,296	14	96	590	528	68	37,070	0.04%	0.92%
岡山	122,158	1,930	1,487	25	49	170	283	619	120,228	0.02%	1.30%
広島	24,470	1,122	960	20	20	621	295	4	23,348	0.08%	1.78%
山口	24,204	1,169	582	18	0	326	215	23	23,035	0.07%	1.54%
徳島	32,035	809	710	35	15	433	225	2	31,226	0.11%	4.33%
香川	80,637	1,559	1,458	74	41	860	365	118	79,078	0.09%	4.75%
愛媛	65,092	403	361	40	29	218	74	0	64,689	0.06%	9.93%
高知	142,124	1,419	1,178	40	81	682	358	0	140,705	0.03%	2.82%
福岡	48,848	2,046	1,825	36	36	570	630	553	46,802	0.07%	1.76%
佐賀	30,573	761	661	7	37	405	211	1	29,812	0.02%	0.92%
長崎	41,481	879	774	45	9	543	171	6	40,602	0.11%	5.12%
熊本	57,271	220	199	20	5	127	47	0	57,051	0.03%	9.09%
大分	27,930	429	306	14	6	208	78	0	27,501	0.05%	3.26%
宮崎	51,734	1,092	1,013	55	33	623	239	57	50,642	0.11%	5.04%
鹿児島	151,184	2,640	2,433	102	80	1,387	864	0	148,544	0.07%	3.86%
沖縄	108,189	1,064	712	28	16	247	217	204	107,125	0.03%	2.63%
合計	3,353,692	68,985	54,126	1,559	1,599	24,081	20,173	6,210	3,284,707	0.05%	2.26%

古本で日本対がん協会に寄付ができます

読み終えた本やDVDなどを活用しませんか？

charibon by VALLE BOOKS

詳しくは「チャリボン」

<http://www.charibon.jp/partner/JCS/>

お問合せ(株式会社バリューブックス)：0120-826-295

受付時間：10:00-21:00(月~土) 10:00-17:00(日)